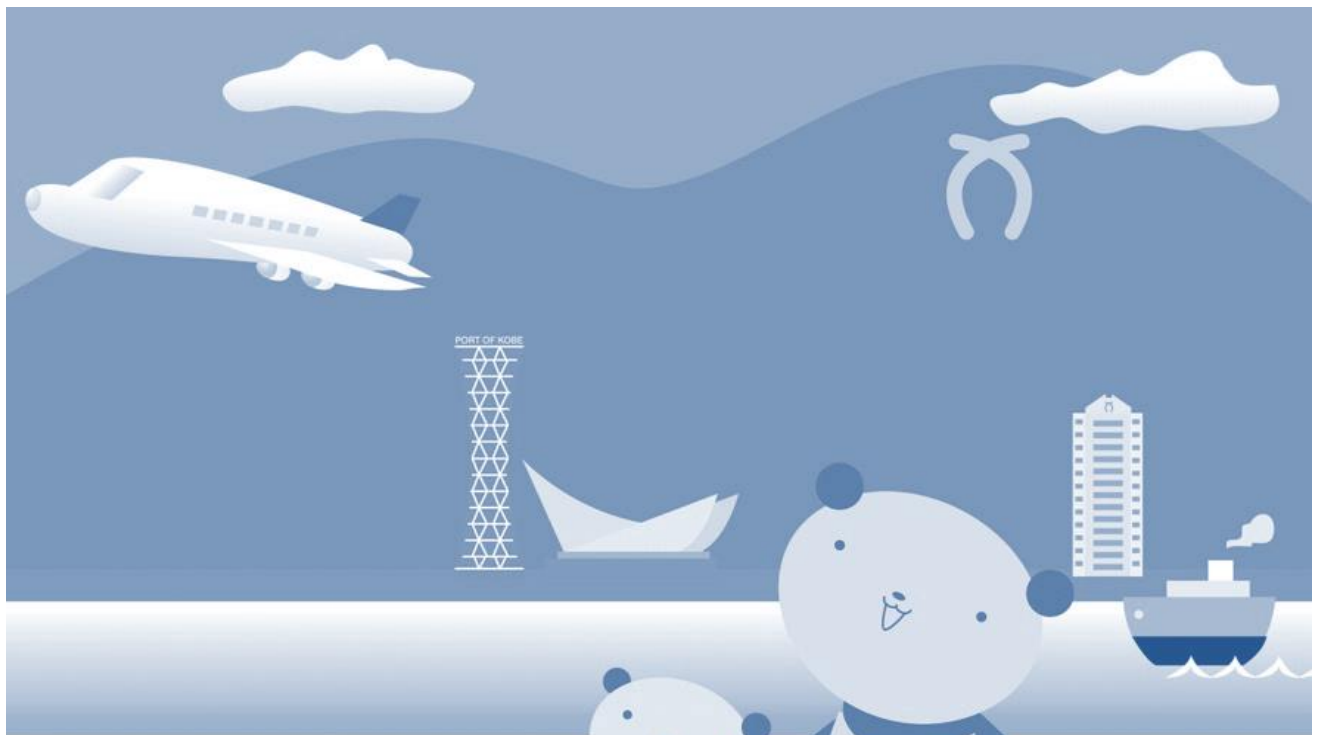


# 2023 ディスクロージャー

しょくしんの現況 令和5年度 上半期



あいちゃん

しんちゃん

しょくしん

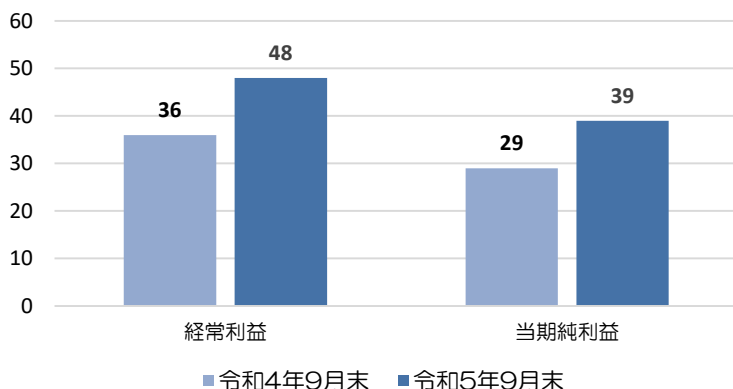
神戸市職員信用組合

# 令和5年度上半期<令和5年4月1日～令和5年9月30日>における しよくしんの経営情報をお知らせします

## 損益勘定の状況

(単位：百万円)

### 経常利益・当期純利益



### 用語解説

#### 経常利益

金融機関の営業活動によって通常発生する収益（経常収益）から費用（経常費用）を差し引いたものです。

#### 当期純利益

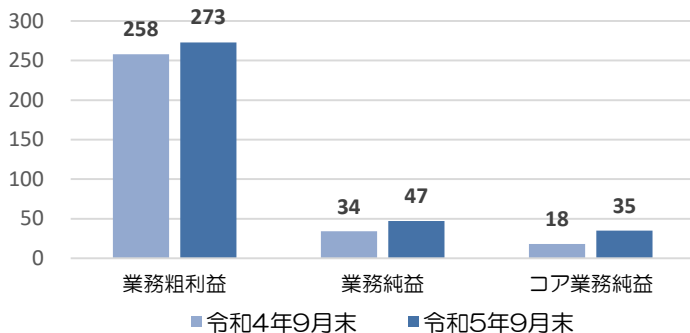
経常利益から、臨時的に発生した収益や費用（特別損益）を加減し、法人税等の税金を差し引いたものです。

(単位：百万円)

科 目	金 額	
	令和4年9月末	令和5年9月末
経 常 収 益	323	330
資金運用収益	299	315
役員取引等収益	2	2
その他業務収益	19	11
その他経常収益	1	1
経 常 費 用	286	282
資金調達費用	31	25
役員取引等費用	31	31
その他業務費用	0	0
一般貸倒引当金繰入額	-	-
経 費	223	226
その他経常費用	0	0
経 常 利 益	36	48
特 別 損 益	-	-
税引前当期純利益	36	48
法 人 税 等	7	8
当 期 純 利 益	29	39
繰越金（当期首残高）	355	246
当期末処分剰余金	384	285

(単位：百万円)

### 業務粗利益・業務純益・コア業務純益



### 用語解説

#### 業務粗利益

金融機関の主要な業務の状況を示す指標です。①資金運用で得られる収益と資金調達にかかる費用の差である「資金運用収支」、②手数料などの収益と、支払った保険料等の費用の差である「役員取引等収支」、③国債等債券の売却・償還等による損益などの「その他業務収支」の3項目で構成されています。

$$\text{※ 業務粗利益率} = \frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定計平均残高}} \times 100$$

(預け金+有価証券+貸出金+全信組連出資金)

#### 実質業務純益・業務純益

業務粗利益から臨時的な色彩のない経費等を除いたものを「実質業務純益」といいます。さらに、一般貸倒引当金繰入額を除いたものが「業務純益」で、金融機関が本来の業務活動で稼ぎ出した利益を表します。

#### コア業務純益

実質業務純益から「国債等債券損益」を除いたものです。業務純益から特殊な変動要因を除くことで、より実質的な金融機関本来の業務による収益力を表します。

(単位：百万円、%)

項 目	金 額	
	令和4年9月末	令和5年9月末
業 務 粗 利 益	258	273
資金運用収支	268	289
役員取引等収支	△ 29	△ 28
その他業務収支	19	11
(業務粗利益率)	(0.58%)	(0.61%)
経 費	223	226
実 質 業 務 純 益	34	47
一般貸倒引当金繰入	-	-
業 務 純 益	34	47
国債等債券損益	16	11
コ ア 業 務 純 益	18	35
コ ア 業 務 純 益 (投資信託解約損益除く)	18	35



※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計が一致しない場合があります。

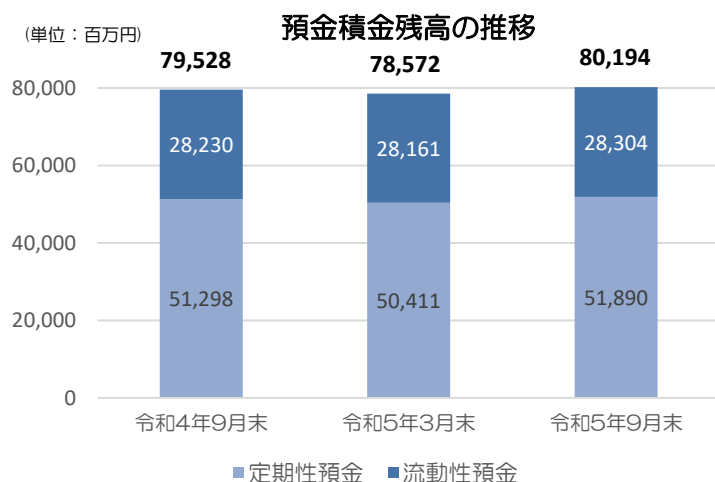
## 主要勘定の状況

科 目	金 額	
	令和5年3月末	令和5年9月末
(資産の部)		
現 金	362	381
預 け 金	20,165	19,029
有 価 証 券	56,105	58,750
貸 出 金	9,088	8,667
そ の 他 資 産	1,406	1,537
有 形 固 定 資 産	83	74
無 形 固 定 資 産	4	3
貸 倒 引 当 金	△ 27	△ 26
(うち個別貸倒引当金)	( - )	( - )
資 産 の 部 合 計	87,187	88,419

(単位：百万円)

科 目	金 額	
	令和5年3月末	令和5年9月末
(負債の部)		
預 金 積 金	78,572	80,194
借 用 金	-	-
そ の 他 負 債	72	90
負 債 の 部 合 計	78,645	80,285
(純資産の部)		
出 資 金	66	67
利 益 剰 余 金	8,972	8,983
組 合 員 勘 定 合 計	9,039	9,050
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 496	△ 916
純 資 産 の 部 合 計	8,463	8,134
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	87,187	88,419

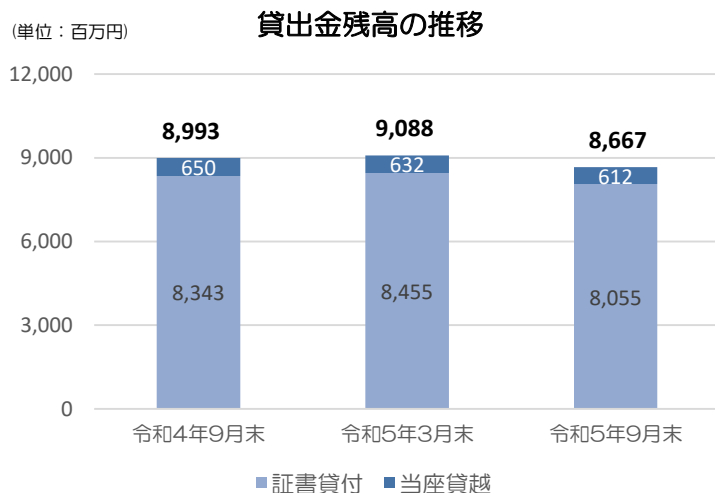
## 預金積金の状況



(単位：百万円)

項 目	令和5年9月末
流動性預金	28,304
普通預金	28,304
別段預金	0
定期性預金	51,890
定期預金	51,411
定期積金	478
合 計	80,194

## 貸出金の状況



(単位：百万円)

項 目	令和5年9月末
証書貸付	8,055
住宅ローン	6,538
上記以外	1,517
当座貸越	612
合 計	8,667



※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計が一致しない場合があります。

## 有価証券の状況

### (1) 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区分	令和5年3月末			令和5年9月末		
	貸借対照表 計上額	時価	差額	貸借対照表 計上額	時価	差額
外国証券	600	578	△ 21	600	574	△ 25
合計	600	578	△ 21	600	574	△ 25

### (2) その他有価証券で時価のあるもの

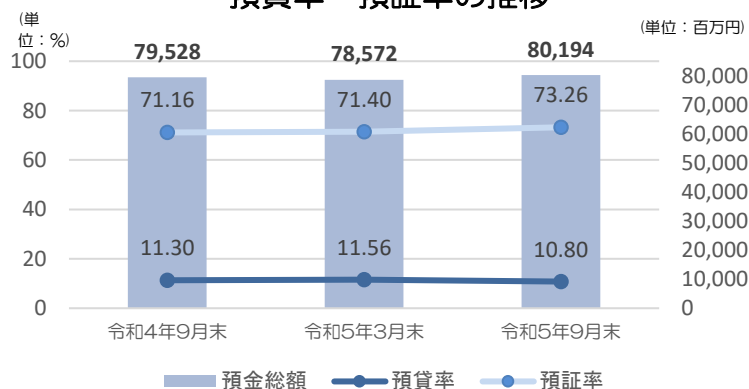
(単位：百万円)

区分	令和5年3月末			令和5年9月末		
	貸借対照表 計上額	取得原価	差額	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
国債	5,213	5,108	105	4,408	4,520	△ 112
地方債	7,224	7,077	147	6,864	6,761	102
社債	40,163	40,811	△ 648	43,357	44,338	△ 980
株式	-	-	-	-	-	-
外国証券	1,300	1,400	△ 99	1,882	2,000	△ 117
投資信託	1,602	1,789	△ 186	1,637	1,786	△ 149
合計	55,505	56,186	△ 680	58,150	59,407	△ 1,256

## 預貸率・預証率

預貸率・預証率は組合員の皆さまからお預かりしている、預金の運用状況を示す指標です。  
 預貸率は預金残高に対する貸出残高、預証率は預金残高に対する保有有価証券残高の比率です。

### 預貸率・預証率の推移



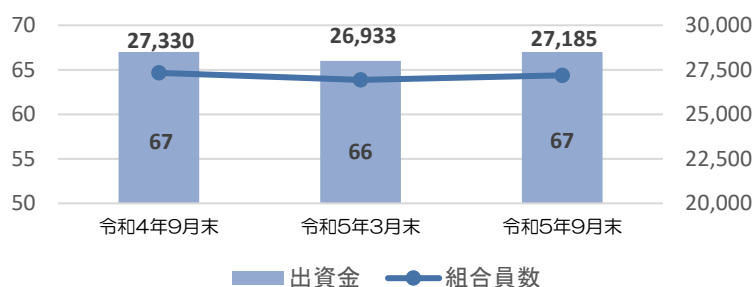
項目	令和5年9月末
預貸率	10.80 %
預証率	73.26 %

## 出資金・組合員数

(単位：百万円)

### 出資金・組合員数の推移

(単位：人)



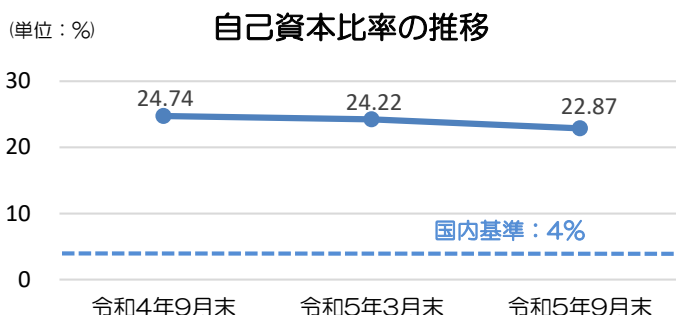
## 自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の経営の健全度を示す指標のひとつであり、しょくしんのように海外に営業所を持たない金融機関では国内基準の4%以上を維持することが求められています。

令和5年9月末では、22.87%となっており、しょくしんは健全かつ安定した経営を維持しています。

(単位：百万円、%)

項	目	令和5年3月末	令和5年9月末
コア資本に係る基礎項目	(イ)	9,037	9,076
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定の額		9,010	9,050
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		27	26
コア資本に係る調整項目	(ロ)	3	2
自己資本 ( (イ) - (ロ) )	(ハ)	9,034	9,074
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ)	37,295	39,662
自己資本比率	( (ハ) / (ニ) )	24.22%	22.87%



(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第22号）」に係る算式に基づき算出しています。なお、当組合は国内基準を採用しています。

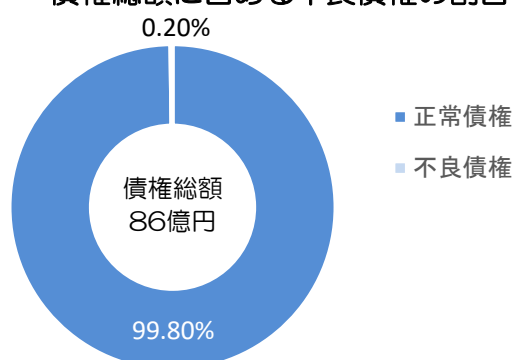
## 不良債権の状況【金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額】

不良債権に対しては、担保・保証や貸倒引当金により保全し、損失の発生を防いでいます。令和5年9月末における不良債権額は17百万円ですが、この全額を保全しています。

(単位：百万円、%)

区分	債権額	保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ※1	1	1	100.0%
危険債権 ※2	-	-	-
要管理債権 ※3	16	16	100.0%
不良債権計	17	17	100.0%
正常債権 ※4	8,660		
合計	8,678		

### 債権総額に占める不良債権の割合



※1：破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
 ※2：債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。  
 ※3：「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。  
 ※4：債務者の財務状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。

## 経営管理体制

### ●苦情処理措置

ご契約内容や商品に関する苦情等は、当組合窓口または総務部にお申し出ください。

#### 【神戸市職員信用組合 総務部】

受付日：月曜日～金曜日（祝日および組合の休業日は除く）

受付時間：8：45～17：30

電話：078-984-0500

なお、苦情対応手続について、ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

### ●紛争解決措置

- ・東京弁護士会 紛争解決センター（電話：03-3581-0031）
- ・第一東京弁護士会 仲裁センター（電話：03-3595-8588）
- ・第二東京弁護士会 仲裁センター（電話：03-3581-2249）

で紛争の解決を図ることも可能です。各仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまもご利用いただけます。ご利用を希望されるお客さまは、当組合総務部またはしんくみ相談所にお申し出ください。

また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。

仲裁センター等では、東京以外の地域の方々からの申立について、当事者の希望を聞いたうえで、アクセスに便利な地域で手続きを進める方法もあります。

①移管調停：東京以外の弁護士会の仲裁センター等に事件を移管する。

②現地調停：東京の弁護士会の斡旋人と東京以外の弁護士会の斡旋人が、弁護士会所在地と東京を結ぶ、テレビ会議システム等により、共同して解決に当たる。

※移管調停、現地調停は全国の弁護士会で実施している訳ではありませんのでご注意ください。

具体的内容は仲裁センター等にご照会ください。

#### 【一般社団法人 全国信用組合中央協会 しんくみ相談所】

受付日：月曜日～金曜日（祝日および信用組合の休業日は除く）

受付時間：9：00～17：00

電話：03-3567-2456

### ●地域貢献に対する取組

#### 1. 地域に貢献する信用組合の姿勢

当組合は組合員の相互扶助に基づく「協同組合組織の金融機関」として、金融業務を通して組合員の福利厚生向上を図り、組合員の皆様が職場で安心して働き、家庭・地域で安定した生活を送ることに貢献することを目的としています。

#### 2. 融資を通じた貢献

##### (1) 貸出件数と金額

令和5年9月末における貸出先数は2,016先、貸出金額は8,667百万円で、現職職員の約10%の皆様にご利用いただいています。

住宅ローン	876件	6,538百万円
その他のローン	2,229件	2,129百万円

##### (2) 融資商品の概要

当組合の融資商品は、住宅購入やリフォームを目的とした「SSS住宅ローン」・「スカイローン」・「住宅ローン(無担保)」、お子さまの進学資金のための「教育ローン」、目的自由な「多目的ローン」、急な出費に備えた「えるポケットローン」など組合員の皆様のライフスタイルに応じて商品を取り揃えています。

#### 3. 預金を通じた貢献

職域信用組合の特徴を活かした給与天引商品として「定期積金」「マイポケット」や「一般財形」「住宅財形」を取り扱っているほか、「定期預金」「普通預金」などで組合員の皆さまの財産形成や資金決済などにご利用いただいています。

また、本店以外にも市役所1号館、各区役所（中央区役所・北神区役所除く）、中央市民病院・西市民病院にATMを設置しており、お気軽にご利用いただけます。

#### 4. 社会貢献に関する活動

しよくしんでは、「社会福祉法人神戸市社会福祉協議会」など各種団体への寄付や事業の協賛を通じて、幅広い分野への社会貢献活動を行っています。